

自国の発展のため 山梨で水資源管理を学ぶマダガスカル人留学生

6月26日(金)、独立60周年に合わせてオンライン文化交流イベント開催

山梨大学のマダガスカル人留学生、Zy Harifidy(ジィ ハリフィディ)さんは、JICA が実施する ABE イニシアチブ(注)という留学プログラムで昨年9月に来日し、山梨大学大学院で水資源管理の環境工学を学んでいます。

地元の高校を卒業するまでマダガスカルの地方で育った彼女は、マダガスカルの女性が毎日水汲みの重労働に従事していること、またトイレも不衛生で手洗いも満足にできず、飲み水も不衛生で特に乳幼児が下痢などで命まで落としていること、など、自国の水や衛生に関する問題を解決するのが夢です。

そんな彼女が6月26日(金)のマダガスカル独立60周年に合わせて、もう一人の山梨大学のアフリカ人留学生(ブルキナファソ出身、この春に来日)と共に、山梨大学国際交流センターが主催するオンラインの文化交流イベントに登壇します。ぜひ同イベントや同留学生への個別取材をご検討ください。

山梨大学オンラインイベントの詳細はこちら：

<https://www.ciee.yamanashi.ac.jp/modules/information/index.php?page=article&storyid=242>

なお、マダガスカルの水・衛生分野では、JICAの青年海外協力隊員が10年前に作った手洗いを啓発する歌が現地で広く普及しており、今も新型コロナウイルスの感染拡大防止に貢献しています。また、当時この歌の普及に尽力した JICA マダガスカル事務所の現地スタッフは現在水・衛生省の大臣を務めているなど、マダガスカルの水・衛生分野は現在再び注目を集めています。

参考：「協力隊員×人気歌手の「手洗いソング」：マダガスカルで歌い継がれ、手洗い啓発にひと役」

https://www.jica.go.jp/topics/2020/20200508_01.html

※ もう一人の登壇者の出身国であるブルキナファソも、8月5日に独立60周年を迎えます。同留学生への個別取材も別途ご検討ください(同留学生は、JICA 事業による留学生ではありません)。

(注)「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアチブ(African Business Education Initiative for Youth)」

【本件に関する問い合わせ先】	
◆JICA 事業、留学生への個別取材について JICA 横浜 研修業務課 福田 TEL : 045-663-3253 e-mail : Fukuda.Misako@jica.go.jp	◆オンライン文化交流イベントについて 山梨大学国際交流センター e-mail : adviser-eng@yamanashi.ac.jp